

# 生ごみの減量にご協力ください!

## 分別の徹底をお願いします!!

### 生ごみの減量はなぜ必要か?

#### ■ごみの減量ができなければ多額のお金が要ります

ごみ処理には多くの税金が使われています。また、現在の指定ごみ袋の料金はごみを処理する経費の一部に充てられています。生ごみの減量、分別の徹底でごみが減れば、ごみ処理費用を節約することができ、福祉など他の事業にも効果的に税金を使うことができます。

#### ■減量できなかったごみ約3,200トン! 初年度の処理費用は年間約1億2千万円

平成26年4月から稼働するやまだエコセンターへ志摩市が持ち込めるもやせるごみの年間量は、約13,500トンです。平成25年度の推計で平成26年度のもやせるごみの量は約16,700トンと予測され、約3,200トンのもやせるごみは処理できなくなります。

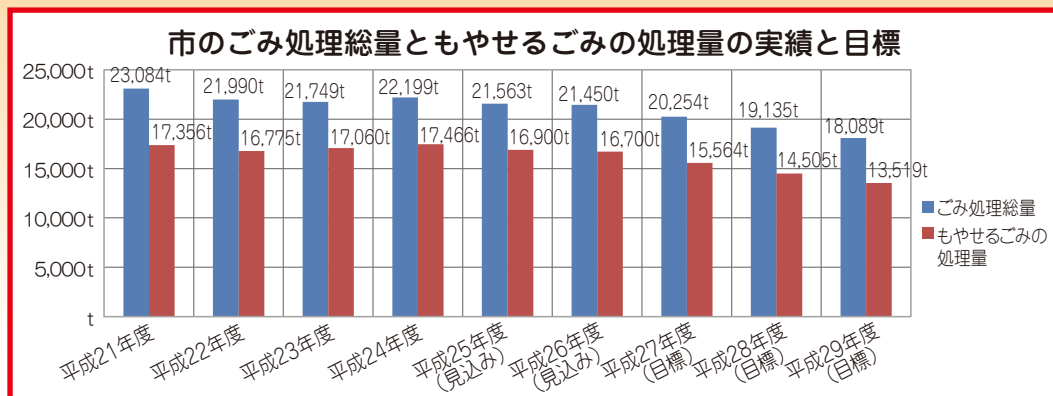
減量できなかったごみの処理のため、当分の間、市外の民間のごみ処理施設へ委託するなどしてごみを処理する予定です。減量できなかったごみの処理には初年度は約1億2千万円かかりますが、市民の皆さんにごみの減量にご協力いただくことにより、2年目には約8千万円、3年目には約4千万円と節約をすることができます。

### 減らないもやせるごみの処理量

市では、昨年4月からごみの分別区分を変更するなど、ごみ減量のためのさまざまな取り組みを進めています。

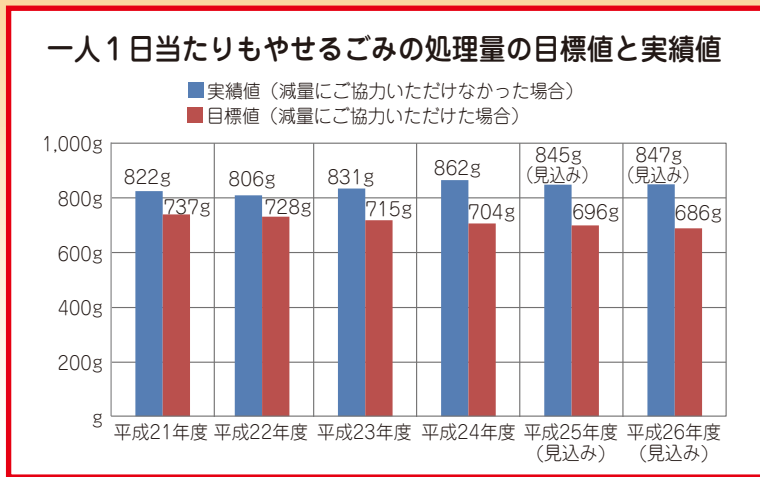
しかし、今年4月から10月までのもやせるごみの処理量は、前年度の同時期と比べてみますと、ごみ集積所に出されたもやせるごみは5.2%の減量にとどまっており、大きな成果にはなっていません。

平成26年度稼働予定の鳥羽志勢広域連合ごみ処理施設「やまだエコセンター」でごみをスムーズに処理するためには、さらなる減量の取り組みが必要です。



ごみを減量するには? ⇒ 裏面へ

## これまでのもやせるごみ減量の目標と実績



平成25年度  
市民1人1日当たりの  
もやせるごみ排出量の見込み  
現状 **845グラム** → 目標 **686グラム**

1人1日目標159グラムの  
減量が必要です!  
(目安)コップ1杯の水(約180グラム)

## まだまだできるごみ減量



### ■もやせるごみの中には、多くの混入物

もやせるごみが減らない理由は、もやせるごみの中に、資源になる雑がみ、プラスチック製容器包装が混入していることが挙げられます。

また、もやせるごみの中で生ゴミが占める割合は約30~50%といわれ、その内水分量は約70~80%といわれています。

### 減量のポイント

#### 分別でごみを減らそう!

資源になる雑紙、プラスチック製容器包装はきちんと分別しましょう。

#### 生ごみは水分を切って減量!

台所の生ごみは三角コーナーで十分水を切った後出してください。生ごみの水を切ることにより、減量だけでなく、燃焼効率の向上や補助燃料の削減、CO<sub>2</sub>の発生抑制および経費の削減につながります。

一人ひとりが分別を徹底していただくとともに、生ごみにつきましても、水切りの徹底など市民の皆さんにご協力いただくことで大きな減量効果につながります。今後とも市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

## (参考)ごみの重さ

種類	品目	重さ	種類	品目	重さ
プラスチック製 容器・包装	コンビニ弁当容器	30g	生ごみ (脱水前)	バナナの皮(Sサイズ)	40g
	プリンの容器	14g		みかんの皮(Sサイズ)	20g
	シャンプーのボトル	68g		リンゴの皮・芯(Mサイズ)	85g
その他の 紙	ティッシュペーパーの空箱	35g		緑茶の殻(4杯分)	35g
	ダイレクトメール	40g		キャベツの外の葉	60g
	A4コピー用紙	4g	コーヒーの殻(4杯分)	55g	

問い合わせ 美化衛生課



44・0229



44・5261



bika@city.shima.lg.jp